



## 地域おこし里見の郷委員会

11

## 団体紹介

## 「里見の郷」を地域ブランドに！



平成15年に、旧榛名町主催の事業で「里見郷復興事業」を有志が発表し、正式な会の発足は、平成20年に「全国里見氏発祥の地（平安時代・1154年久寿元年頃（伝）・里見義俊公に関係する）」を活かした地域づくりを進めようと、高崎市里見地区の住民や県内外の子孫で結成したことに始まります。結成以降、講演会の開催や出版物の発行を行い、「高崎市生涯学習まちづくり賞」を受賞したほか、その研究の成果は、地元メディアにも取り上げられています。

## インタビュー 事務局長 中嶋 講二さん

## “里見の歴史や地域の文化”の掘りおこしと発信に尽力

平成の大合併によって、旧榛名町は高崎市に編入され、地域の歴史や文化が埋没してしまうのではないかという危機感をいただくようになったそうです。そこで、里見の歴史や地域の文化を掘りおこし、発信して、「里見の郷」を地域のブランドに醸成するために活動をすることは、大変意義深いことであると考えているそうです。

里見氏のルーツを探る「里見の郷歴史講演会」の内容は、季刊誌「上州風№29～特集南総八犬伝と群馬・里見氏のルーツをたどる」（上毛新聞社刊）でも紹介され、その後の講演会では、”里見の梨”を代表とする「果樹園街道の魅力発信」も同時に行うなど、地域のブランド力向上にも力を入れています。

また、郷土の歴史をもっと身近に感じてもらおうと歴史街道「里見の散策地図」の作成や「里見八犬伝～大型人形劇ミュージカル」をプロ劇団影法師と共同開催したほか、平成26年からは、「歴史を活かしたまちづくり講演会」へと発展し、地域づくり団体「榛名まちづくりネット」と共催し、その取り組みの幅を広げてきました。



## 主な取組み

## 今、中世が面白い！”上野国八幡荘”を考える

八幡荘のような荘園とは、古代律令制下において貴族や寺社などの有力層の私領として成立した大土地所有制のことで、政権を担う勢力の主要な財政基盤となっていました。そのため、所有に関する利害関係が複雑で、それを紐解く資料も少なく、今後の研究で大きな発見が見込める分野もあります。

八幡荘は、私たちの里見地区を包含する烏川右岸と碓井川両岸に広がっていたとされ、八幡信仰との深い関係があり、源義重を始祖とする新田源氏の一流である武士団が支配していました。八幡荘は、交通・流通の要衝としての位置関係を背景に、軍事的にも重要な地域であり、この地で勢力を強めた源義重が、後に新田荘に進出していったことを考えると、国指定史跡を持つ新田荘に匹敵する歴史的価値があると考えています。そのため、八幡荘は、中世武士団研究や荘園史研究だけでなく、広く中世前期の東国社会像の研究でも大きな役割を果たすものと考えられています。

現在、「第65号 ぐんま地域文化 上野国八幡荘再考 特集」（一般財団法人群馬地域文化振興会）が発刊されています。この号では、最新研究をもとに、中世研究の第一人者の先生方が執筆されています。当委員会では、編集協力のほか、P34の「研修・学習サークル活動紹介」に掲載されています。ぜひお手にとっていただければと思います。また、今後執筆いただいた先生方をお招きした講演会などの開催も検討していますので、ぜひお楽しみにしていただければと思います。



## お問合せ等 刊行物や講演会などに関するお問合せは・・・

事務局長の中嶋さんの中世のお話や刊行物を拝読すると、非常に細かく、常に最新の研究成果を盛り込んだ内容になっていて、歴史好きの私にとっては、引き込まれる話題ばかり。また歴史的な観点だけでなく、今の里見地域、榛名地域の観光や産物とのコラボレーションも盛り込みながら、地域の発展にも尽力されている取組みには関心されっぱなしでした。

刊行物の問合先：高崎市中里見町373 戸田書店榛名店内

電話 027-374-3377 e-mail nakakouji3377@icloud.com



X QRコード